



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 愛眼株式会社
 コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々 昌俊

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,883	6.0	12		0	99.8	25	
2019年3月期第1四半期	4,133	0.4	68	26.5	94	15.1	61	24.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 44百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 56百万円 (49.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.32	
2019年3月期第1四半期	3.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	16,734	14,101	84.3
2019年3月期	16,686	14,223	85.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,101百万円 2019年3月期 14,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)期末の配当につきましては未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,963	4.9	381	54.8	428	43.0	331	69.0	17.07
通期	16,891	4.1	356	58.6	439	42.9	307	86.5	15.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	21,076,154 株	2019年3月期	21,076,154 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,667,956 株	2019年3月期	1,667,879 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	19,408,253 株	2019年3月期1Q	19,408,479 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調に推移したものの、米中貿易摩擦など海外の政治・経済情勢の不確実性や金融資本市場の変動による影響、消費増税を控えた消費者マインドの慎重化等が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様からの支持・信頼の獲得に焦点を当てた営業戦略と経営資源の効率的な活用を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、眼鏡小売事業の既存店売上が前年を5.0%下回り、売上高は3,883百万円(前年同四半期比6.0%減)となり、売上総利益率は、主に品種別の売上構成比の変化の影響で0.8ポイント上昇しました。一方、経費面では、新店開発、自社物件の店舗の建て替えや大型改装投資等の経費が嵩む要因があったものの、経費コントロールの徹底を図り、賃料や広告宣伝費などの圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は2,715百万円(前年同四半期比2.1%減)となりましたが、売上高販管費率は売上高の減少が響き2.8ポイント上昇しました。この結果、営業損失は12百万円(前年同四半期は営業利益68百万円)、経常利益は0百万円(前年同四半期比99.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は25百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円)となりました。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

[眼鏡小売事業]

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として永年培ってきた快適で安心な視力・聴力補正技術、高い専門性を要する商品提案力と接客・サービス力の全てが結集した愛眼ブランドの競争優位性の強化に取り組んでまいりました。

商品につきましては、「目の健康」をテーマとして、幅広い年齢層のお客様の多岐にわたるニーズに対応した快適で機能的な高付加価値商品を開発することで、品質・価格の両面で競争力がありお客様満足度の向上に繋がる安心でお買い得な商品の品揃えの拡充を図るとともに、マーチャンダイジングによる販売促進と各種広告媒体を通じた情報発信に努めてまいりました。

売上高につきましては、中心品目のメガネが、主に低価格帯の販売数の減少により売上減となったことに加え、補聴器、サングラス、光学品の売上が伸び悩み全般的に苦戦した結果、減収となりました。

店舗につきましては、大阪府と神奈川県で2店舗を新規出店したことに加え、1店舗で店舗建て替えを行い、2店舗で既存店の活性化を目的とした改装を実施いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は3,705百万円(前年同四半期比6.2%減)、セグメント利益は16百万円(前年同四半期比84.4%減)となりました。

[眼鏡卸売事業]

眼鏡卸売事業につきましては、取引先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組んでおります。

この結果、売上高は118百万円(前年同四半期比3.4%減)となり、セグメント損失は1百万円(前年同四半期はセグメント損失2百万円)となりました。

[写真館事業]

愛写館3店舗を営む写真館事業につきましては、人生の節目節目の記念日を感動的で素敵な思い出にできる豊富な撮影メニューに加え、カメラマンが撮影した美容着付けシーンや家族とのオフショットなど記念日の家族の笑顔をすべて残す「ストーリーフォトプラン」を新たに販売開始したほか、様々な販売促進ツールを通じて地域のお客様への認知度アップに取り組んでまいりましたが、競争激化により厳しい状況が続いております。

この結果、写真館事業における売上高は21百万円(前年同四半期比5.2%減)、セグメント損失は18百万円(前年同四半期はセグメント損失18百万円)となりました。

[海外眼鏡販売事業]

海外眼鏡販売事業につきましては、中国での競争環境が引き続き厳しい状況にあるなか、愛眼PB商品及びメイド・イン・ジャパン商品の強化を主としたマーチャンダイジングの強化など採算の改善に努めております。

この結果、売上高は37百万円(前年同四半期比6.4%増)、セグメント損失は2百万円(前年同四半期はセグメント損失4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、商品及び製品の増加等により47百万円増加し、16,734百万円(前連結会計年度末比0.3%増)となりました。また、負債合計は流動負債のその他に含まれる未払金等の増加により169百万円増加し、2,632百万円(前連結会計年度末比6.9%増)となり、純資産合計は14,101百万円(前連結会計年度末比0.9%減)で、自己資本比率は84.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,414	5,157
受取手形及び売掛金	970	919
商品及び製品	2,078	2,243
原材料及び貯蔵品	27	30
その他	204	255
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,691	8,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,015	1,118
土地	1,887	1,878
リース資産（純額）	0	0
その他（純額）	215	281
有形固定資産合計	3,118	3,279
無形固定資産		
リース資産	21	17
その他	8	21
無形固定資産合計	29	39
投資その他の資産		
投資有価証券	932	904
敷金及び保証金	3,289	3,284
その他	624	623
投資その他の資産合計	4,847	4,812
固定資産合計	7,994	8,130
資産合計	16,686	16,734

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	641	625
未払法人税等	105	47
賞与引当金	86	66
その他	1,075	1,354
流動負債合計	1,909	2,094
固定負債		
繰延税金負債	26	19
再評価に係る繰延税金負債	6	6
資産除去債務	329	332
リース債務	26	16
その他	164	164
固定負債合計	553	538
負債合計	2,463	2,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	5,214	5,111
自己株式	△1,050	△1,050
株主資本合計	16,604	16,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	43
土地再評価差額金	△2,471	△2,471
為替換算調整勘定	26	27
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△2,399
純資産合計	14,223	14,101
負債純資産合計	16,686	16,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,133	3,883
売上原価	1,290	1,180
売上総利益	2,842	2,703
販売費及び一般管理費	2,774	2,715
営業利益又は営業損失(△)	68	△12
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	5	4
受取家賃	16	19
その他	11	4
営業外収益合計	36	30
営業外費用		
固定資産除却損	1	5
賃貸費用	10	11
その他	0	0
営業外費用合計	11	17
経常利益	94	0
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券評価損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	91	△1
法人税、住民税及び事業税	31	23
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	30	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61	△25
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	61	△25

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61	△25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△19
為替換算調整勘定	△1	1
その他の包括利益合計	△4	△18
四半期包括利益	56	△44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56	△44
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	3,952	122	22	35	4,133	—	4,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22	—	—	22	△22	—
計	3,952	145	22	35	4,155	△22	4,133
セグメント利益又は損失 (△)	103	△2	△18	△4	77	△9	68

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	3,705	118	21	37	3,883	—	3,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	18	—	—	18	△18	—
計	3,705	137	21	37	3,902	△18	3,883
セグメント利益又は損失 (△)	16	△1	△18	△2	△6	△5	△12

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。